

社会科研究テーマ

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識技能を習得し、それらを活用しようとする力を育てる学習指導の工夫

第1学年*組 社会科学学習指導案

指導者 藤原 幸子

1 単元 ヨーロッパ州一国どうしの統合による変化ー

2 目標

- ヨーロッパ州の自然環境，産業，生活，文化，歴史的背景等の特色を概観する中で，特に国家間の統合に関心をもち，設定された学習テーマを意欲的に追究しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ヨーロッパ州の国家間の統合が進められてきた理由や統合が可能となった理由について多面的多角的に考察しその過程や結果を適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 様々な資料を基にヨーロッパ州の地域的特色を読み取ったり，まとめたり発表したりすることができる。
(資料活用の技能)
- ヨーロッパ州について，地域ごとに異なる産業や農業が盛んなこと，世界経済における地位が低下してきた様子を概観し，それぞれの基礎的・基本的な知識を理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

本単元は，学習指導要領の地理的分野の目標（2）「日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりごととらえ，それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し，地域的特色や地域の課題をとらえさせる」ことをねらいとしている。特に環境条件については，自然環境だけでなく社会的条件についても多面的に考察することが求められる。

本単元では，ヨーロッパ州の地理的・地域的事象をとらえ，地域統合が進められてきた背景や利点，新たな課題やその解決策について考えたり，意見交換したりすることができるよう学習を進めていきたい。

生徒の実態調査（在籍 男子*名 女子*名）		〈調査日平成*年*月*日〉 *名実施
〈学習活動に関する調査〉		
○地理の学習は好きですか。	はい *名	いいえ *名
○地理の時間にグループで調べ学習をするのは好きですか。	はい *名	いいえ *名
○調べたことを発表するのは好きですか。	はい *名	いいえ *名
○友達の発表を聞くのは好きですか。	はい *名	いいえ *名
〈知識・理解に関する調査〉		
○ヨーロッパにある国の名を書いてください。 10カ国以上・・・*名 5カ国～9カ国・・・*名 4カ国以下・・・*名		
○次の言葉を聞いたことがありますか。(複数回答)		
EU *名	ヨーロッパ連合 *名	バカンス *名 地中海性気候 (既習) *名

実態調査から，地理学習でグループによる調べ学習が好きと答えている生徒が*名であった。一方，「友達の発表を聞くことが好き」と答えた生徒は*名であったが，「自分が発表すること

が好き」と答えた生徒はわずか*名であった。このことから、調べたりまとめたりすることは意欲的であるが、わかったことを発表することを苦手とする生徒が多いと言える。この結果を受けて、ねらいに迫るために学習計画を2段階に分けて進めていく。

第1段階では、地理的特徴や気候、産業や農業など、グループごとに課題を設け、調べていく。様々な資料を使って課題解決をし、その成果を全体に向けて発表し合うすることで、国家間の統合が進められた背景についての基礎的・基本的な知識の習得を図る。

第2段階では習得した知識を活用しながら、国家間の統合によるメリットやデメリット、また新たな問題点について一人一人が自分なりの考えをまとめて、全体で話し合うことで互いの考えを深めていけるようにしたい。

4 指導計画と評価基準 (5時間取り扱い)

	主な学習内容	評価基準	評価の観点			
			関	思	技	知
① 本時	<ul style="list-style-type: none"> EUについての基礎的・基本的事項を理解する。 ヨーロッパ州の統合が進んだ地理的・地域的な背景について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 統合が進んだ地理的・地域的特色について意欲的に調べている。 EUについて基礎的・基本的事項を理解することができる。 	○	◎		
2	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の統合には、共通の言語やキリスト教の信仰などの共通した文化があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に用いられる挨拶や生活と深く結びついているキリスト教の信仰などからヨーロッパの文化の共通点を理解することができる。 		○		◎
3	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの国々が国境を越えた統合が進められた理由について、資料をもとに調べたりまとめたりして理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパへの自然、名所や概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ヨーロッパの国々が統合を進めてきた理由について、経済的な面から考え表現することができる。 		◎		○
4	<ul style="list-style-type: none"> EU諸国と結びつきを深めるロシア連邦の産業について資料を関連づけて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> EU諸国との結びつきを強めるロシアの産業について主題図などの資料を関連付けて読み取ることができる。 			◎	
5	<ul style="list-style-type: none"> EU加盟国にかえる新たな課題について経済面と政治面の視点からまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> EU加盟間での経済格差や各国の意向が反映されないなどの新たな課題について理解することができる。 		○		◎

5 本時の学習

(1) 目標

ヨーロッパの地域的特色やEUについて資料をもとにグループごとに調べ、わかりやすく発表することができる。

(2) 準備・資料

写真資料・資料集・電子黒板・発表資料用紙・マジック・タイマー

(3) 展開

配時	学習活動及び内容	指導上の留意点 ☆個への支援 ◎評価
5	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ヨーロッパで国家間の統合が進んだ地理的・地域的な背景やEU加盟国や統合による利点について調べよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの概観について、デジタル教材で 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州での学習を生かして学習を進めていくことを確認する。 本単元の学習課題を丁寧に提示することで、一人一人が見通しを持って学習を進めていくことができるようにする。

確認 する。

20

2 ヨーロッパのあらましについて、グループごとに調べ、発表する。

協同タイム

- ① 同じ課題のグループで話し合い、課題解決をする。
- ② 1人が発表する。
- ③ 他の3人は気づいたことや足りない部分、良かったことを伝える。
- ④ 発表資料や発表に仕方の見直しをする。
- ⑤ 違う課題の者同士でグループとなる。質問や疑問点を受け、わかる範囲で答える。

20

3 全体発表をする。

- ① ヨーロッパの主な国名と首都・位置
- ② ヨーロッパの地形
- ③ 山脈・河川・半島他
- ④ ヨーロッパの気候
- ⑤ 偏西風・海流
- ⑥ ヨーロッパの農業 混合農業・酪農 他
- ⑦ ヨーロッパの民族 スラブ・ゲルマン他
- ⑧ ヨーロッパの宗教・カトリック・プロテスタント・正教会
- ⑨ EUの目的と加盟国
- ⑩ EUの利点

5

4 本時の学習を振り返る。

ヨーロッパで国家間の統合が進んだ地理的・地域的な背景やEU加盟国や統合による利点についてわかる。

5 次時の学習内容を知る。

・ 国家間の移動には、通貨の両替やパスポートの提示が必要であることを押さえる。

・ 協同タイムでは、タイマーを使用することで、活動を焦点化させ、集中力をもって協同タイムの時間を確保できるようにする。

・ グループで調べる際は、複数の資料を使うよう話す。

・ 司会進行役を立て、各グループともAが行うようにする

・ 資料を活用し、「どの資料から」「どんなことが読み取れるか」、「そのことからどんなことがわかるのか」をしっかりと説明できるようにすることを押さえる。

☆グループでの学習にためらうことが予想される生徒には、教師と一緒にグループに入り、教科書の資料を中心まとめていけるよう支援する。

◎資料を効果的に活用し、グループ内で話し合いながら、わかりやすい資料を作り、説明し、発表している。

(社会的な思考・判断・表現/ノートの記述・発表)

【「努力を要する」状況(C)の生徒への手立て】

・ 友達からのアドバイスを取り入れながら、教科書の資料を中心に発表内容をまとめていくよう助言する。

【「十分満足できる」状況(A)】

・ 2つ以上の資料を適切に活用しながら、聞き手が納得するような説明ができる

・ 本時の振り返りでは、「資料を活用した調べ学習」ができたかどうかについても確認する。

・ 次時は、ヨーロッパで国家間の統合が進んだことによる新たな課題について考えていくことを告げる。